

平成29会計年度事業計画

一般財団法人里仁会は、定款第2章に掲げる目的及び事業を遂行するため、平成29会計年度の事業を次のとおり計画した。

【助成事業】

- I 医学部及び附属病院に対する教育研究協力助成並びに医学研究に対する協力団体助成事業（定款第4条第1号）
 - 1 医学部及び附属病院に対する教育・研究協力助成
 - (1) 病院等運営経費のための助成（寄附金）
 - (2) 医学部医学会の医学雑誌刊行等に対する経費の助成
 - (3) 医療技術職員の教育奨励のための助成（寄附金）
 - (4) 医学部の国際交流支援のための助成（寄附金）
 - (5) その他医学部及び附属病院の会議・行事等に対する経費の助成
 - 2 その他の協力助成
 - (1) 医学祭開催に対する経費の助成
 - (2) 医学部交響楽団定期演奏会開催に対する経費の助成
- II 附属病院の運営に関する協力助成（定款第4条第2号）
 - (1) 看護師採用募集説明会に対する経費の助成
 - (2) 医療技術職員の教育奨励のための助成（寄附金）
 - (3) 両替機の維持管理（1台）
 - (4) マスク自動販売機の維持管理（15台）
- III 患者さんの療養に必要とする各種のサービスの提供及び慰安・救援事業（定款第4条第3号）
 - 1 入院患者さんに対する慰安・救援事業
 - (1) 全入院患者さんを対象に納涼花火大会開催経費の助成
 - (2) 小児入院患者さんに対するクリスマスパーティ諸経費の助成
 - (3) 入院患者さんに対するコンサート開催経費の助成
 - (4) 眼科入院患者さんに対する術後保護眼帯経費の助成
 - (5) 入院患者さんに対するT字帯の助成
 - 2 外来患者さんに対する慰安・救援事業
 - (1) 病院玄関備付け傘用ビニール袋経費の助成
 - (2) 第2食堂横中庭に設けた花壇の維持管理経費の助成
 - (3) 外来ロビー患者さん向け貸出図書寄贈（週刊誌5冊/週）

- (4) 観葉植物協賛金による観葉植物設置維持管理業務
- (5) 外来患者さん用車イス及び乳児用運搬車の購入助成
- (6) 外来患者さん用荷物搬送カートの購入助成
- (7) 外来通路壁面への絵画貸与展示事業

3 その他

- (1) 患者さんの救援事業については、要求の都度検討の上、対応する。

IV 地域保健医療に対する知識の普及等に関する振興助成事業（定款第4条第5号） 各関係機関からの要望に応じ、前年度に引き続き次の事業を行う。

- 1 地元中央市・昭和町の発行する広報誌に「皆さんの健康」欄を設け、山梨大学教職員の協力を得て、地域住民の健康に関する記事掲載事業
昭和59年から継続しており、配布先は、中央市・昭和町内各戸、県広報課及び県内各市町村に配布並びに附属病院正面玄関ロビー内
- 2 地域住民（中央市・昭和町）の保健医療に寄与するための図書寄贈事業

【福利事業】

I 患者さん等及び関係者に対する生活必需品等の供給事業（定款第4条第4号）

1 里仁会

- (1) 診断書郵送業務、あずさ回数券・クリーニングの取扱い、名札ケース・クリップの販売及び障害保険の取次ぎ業務
- (2) コピー、テレファックスのサービス業務
- (3) 白衣、シューズ、カーディガンの販売

1 売店部

- (1) 大学及び患者さんからの要望により平成20年4月1日から営業時間を24時間営業（土・日・祝日を除く）とし、更に販売品目の充実、価格の低廉化に努め、利用者から喜んでいただける売店を目指して行く。
- (2) 引き続き、付添ベッド・松葉杖の貸出しなど、患者さん等に対するサービス向上に努める。
- (3) 郵便切手類の販売及び宅配便の取次ぎ業務
- (4) 分娩セットの販売等業務

2 食堂部（クロスカフェ）

平成20年4月に店内改装及びメニューの改善等を図ったが、更に「患者さんの声」等を尊重したメニューの改善及びサービス向上に努めて行きたい。

また、平成27年12月21日から人型ロボット「PEPPER」君を導入し利用者のより快適で魅力的な場所の提供、更には院内の癒しの空間として利用拡大を図って行きたい。

3 和食処（つどい）

店内改装及びメニューの改善等を図ったが、更に「患者さんの声」等を尊重したメニューの改善及びサービス向上に努めて行きたい。

II その他の事業（定款第4条第6号）

1 公衆電話管理業務

新旧病棟エレベーターホール・外来ホール・精神科病棟内等に設置されている公衆電話機に対し、定期的に集金・清掃を行い、利用者の便宜を図る。

2 附属病院内の病理解剖雑務補助業務及び遺体搬送業務

病院解剖等遺体の取扱い及び遺体の対応に充分留意させるとともに、霊安室、病理解剖室等関係施設の維持管理の徹底に努める。

III その他

1 大学及び関係機関等と協議し、財団の存続方策について検討する。

(注) _____の箇所は、28年度新規又は拡大実施事業である。

_____の箇所は、29年度中に実施を予定している事業である。